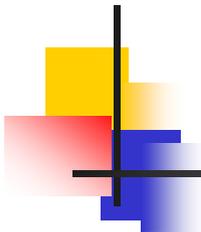


ガラス製体温計の検定について

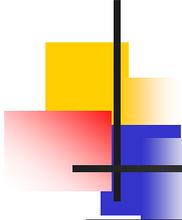
平成18年4月4日(火)
計量制度検討小委員会
第1WG(第6回)

東京都計量検定所



内容

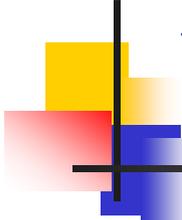
- 1 ガラス製体温計の計量法上の規制
- 2 市場に出すまでのフロー
- 3 検定の主体(検定機関)について
- 4 検定の状況について



1. ガラス製体温計の計量法上の規制

特定計量器 <計量法 第2条第4項に規定>

4 この法律において「計量器」とは、計量をするための器具、機械又は装置をいい、「特定計量器」とは、取引若しくは証明における計量に使用され、又は主として一般消費者の生活の用に供される計量器のうち、適正な計量の実施を確保するためにその構造又は器差に係る基準を定める必要があるものとして政令で定めるものをいう。



1.1 ガラス製体温計の計量法上の規制

計量法施行令 第2条第三号

三 温度計のうち、次に掲げるもの

イ ガラス製温度計のうち、次に掲げるもの

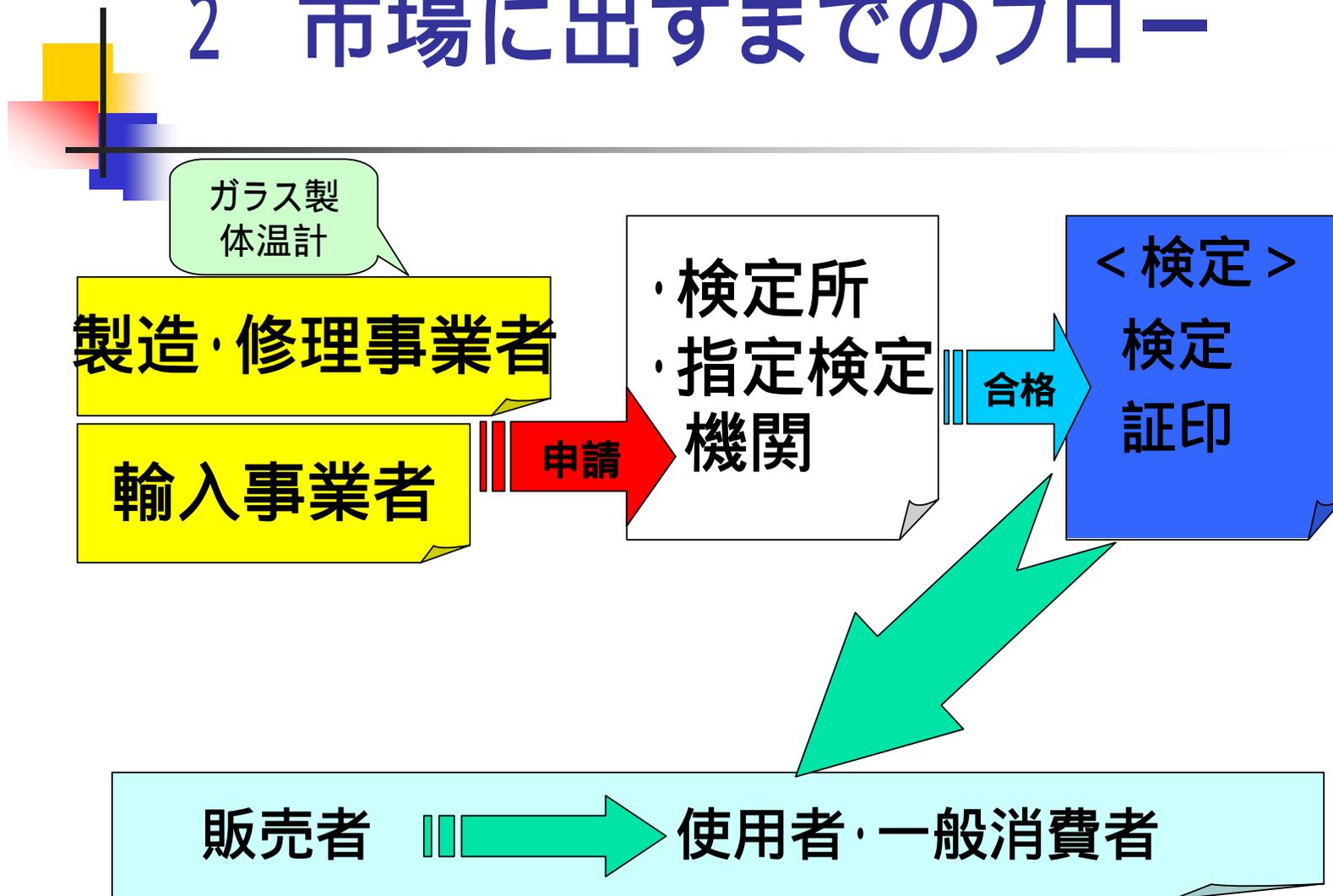
(1) 計ることができる温度が零下30度以上360度以下のもの、(2)に掲げるものを除く。)

(2) ベックマン温度計のうち、温度の上昇計量用のもの

(3) ガラス製体温計

ロ 抵抗体温計(電気抵抗の変化をもって、体温を計量する温度計であって、最高温度保持機能を有するものをいう。以下同じ。)

2 市場に出すまでのフロー



3. 検定の主体(検定機関)について

< 検定の主体 > (計量法第70条、計量法施行令第17条第1項、別表第四)

1 都道府県計量検定所

平成16年度検定実績のあった都道府県

埼玉県

東京都

静岡県

2 指定検定機関

(計量法第16条第1項第2号イの規定に基づく指定)

< 現在 1社指定 >

財団法人 日本品質保証機構 計量計測センター

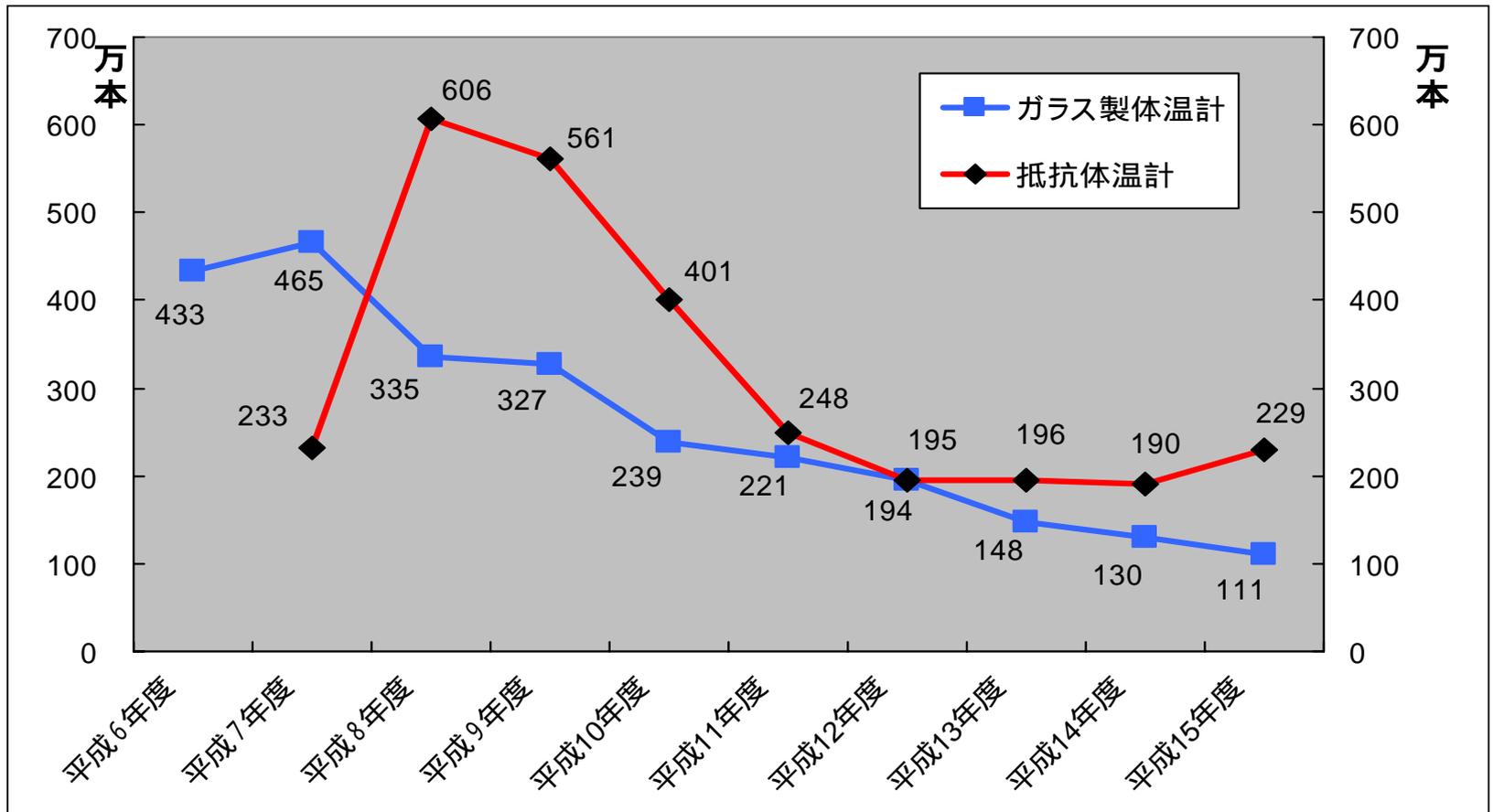
3.1 検定の概要について

< 検定の概要 > (特定計量器検定検査規則 第215条～284条の該当条文)

- 1 構造に係る技術上の基準
表記、材質、性能
……………JIS T 4206ガラス製体温計附属書による。
- 2 器差検定の方法(第272条～280条まで)
検定公差 JIS T 4206ガラス製体温計附属書による。
- 3 使用中検査(第282条～284条まで)(第282の2除)
使用公差 JIS T 4206ガラス製体温計附属書による。
- 4 検定設備 基準ガラス製温度計(体温計用)、検査温槽、
監視モニター、体温計用検定証印機
遠心分離機 他

3.1.1 ガラス製体温計と抵抗体温計の動向

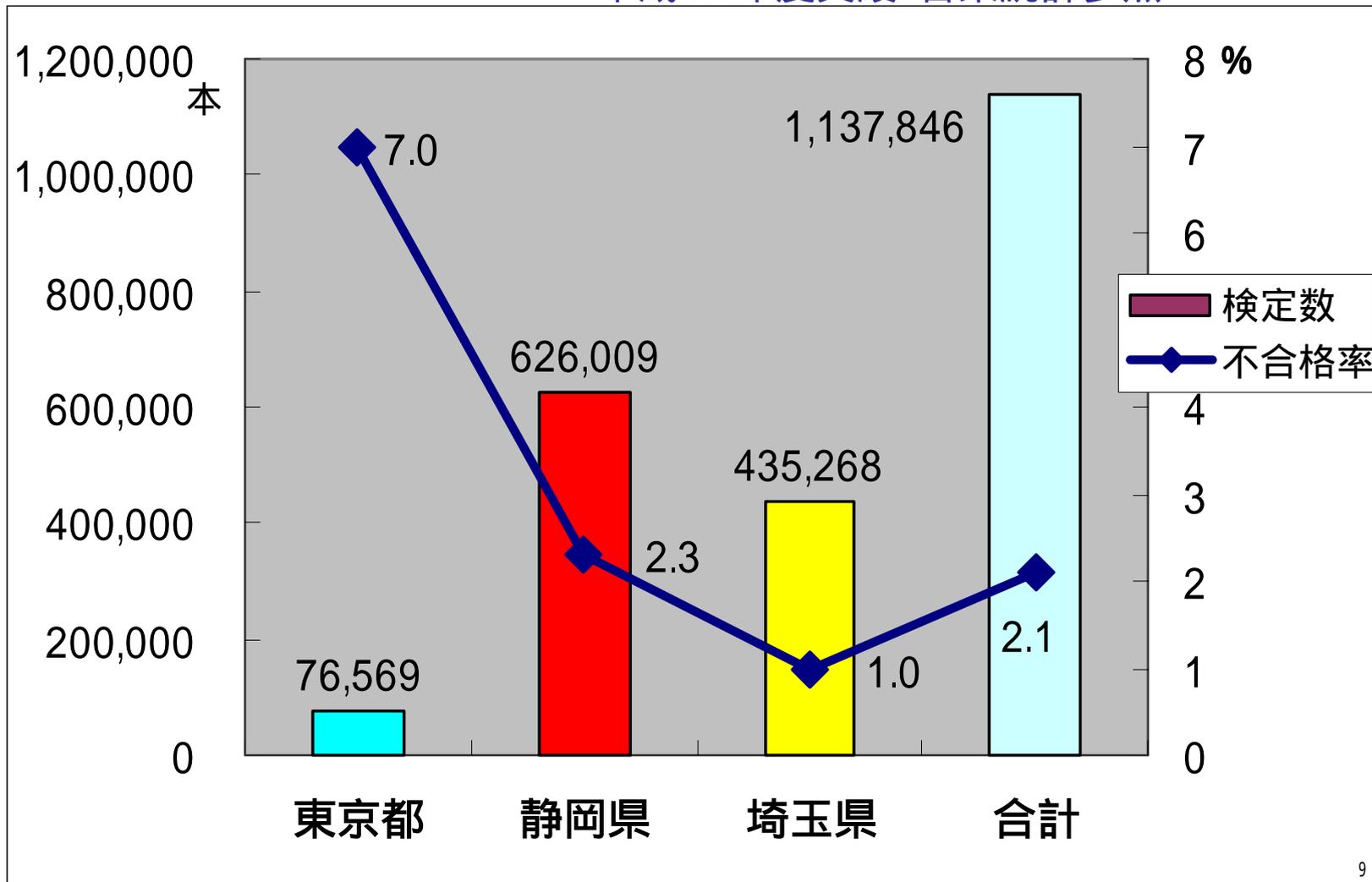
(外国指定製造事業者分除く) 出典:計量統計要覧



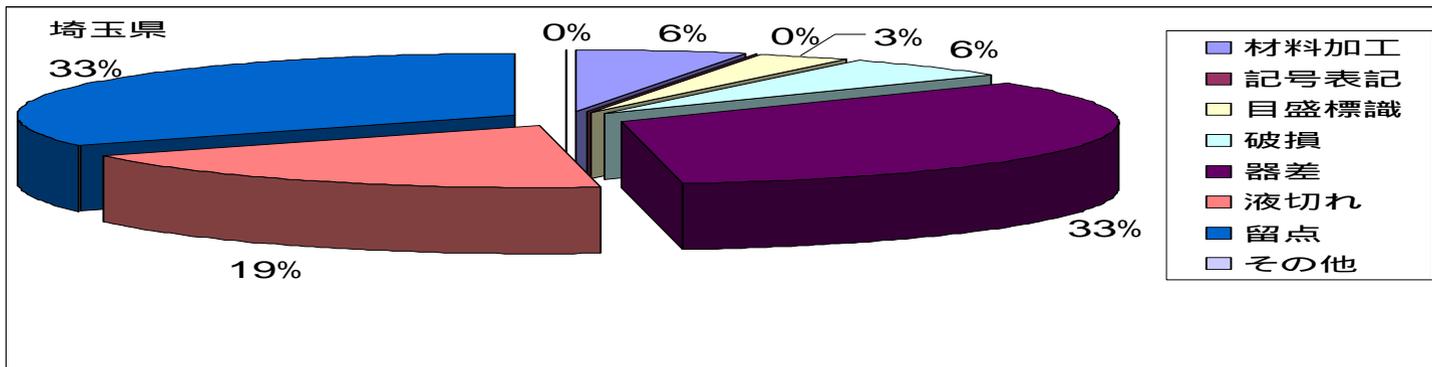
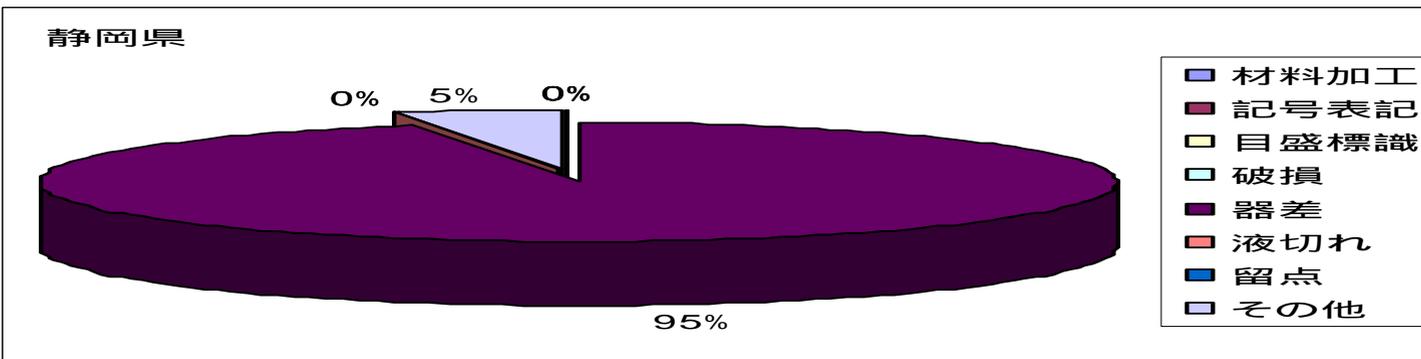
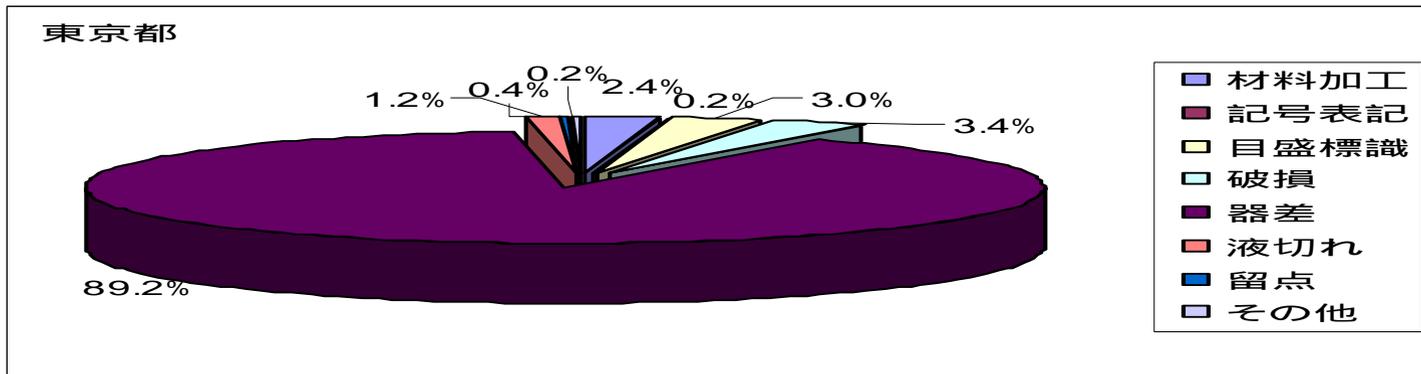
4 検定の状況

検定機関ごとの検定実績

平成16年度実績:各県統計参照

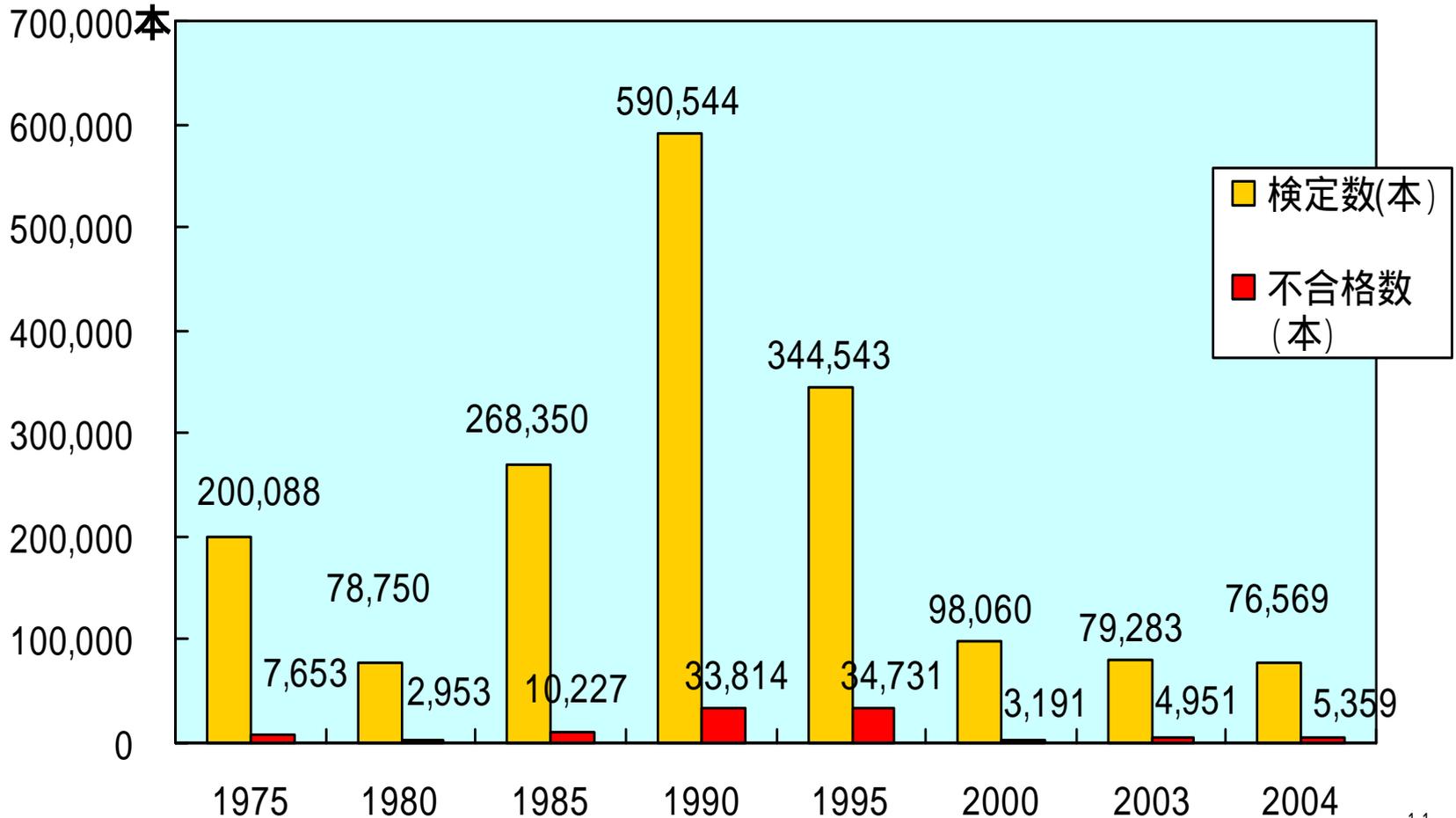


4.1 検定不合格の内訳(3都県分)



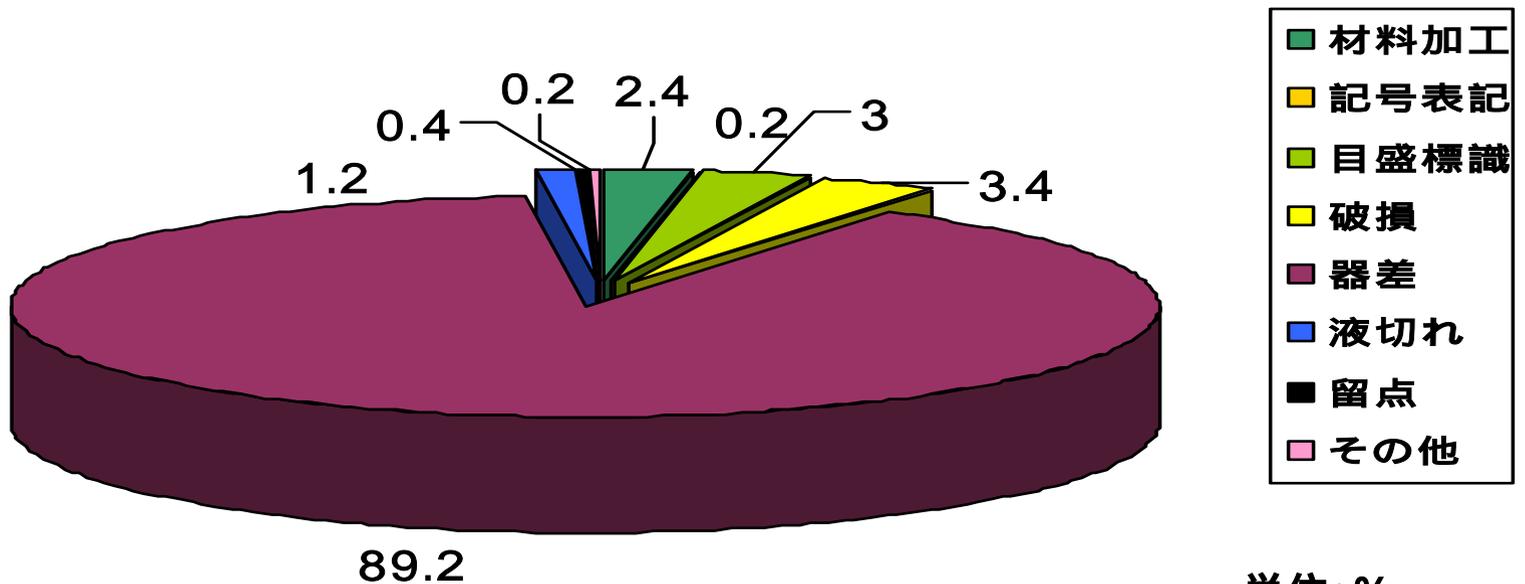
4.2.1 検定の状況(東京都)

(1) 検定数と不合格数の比較(1975～2004)



4.2.2 検定の状況

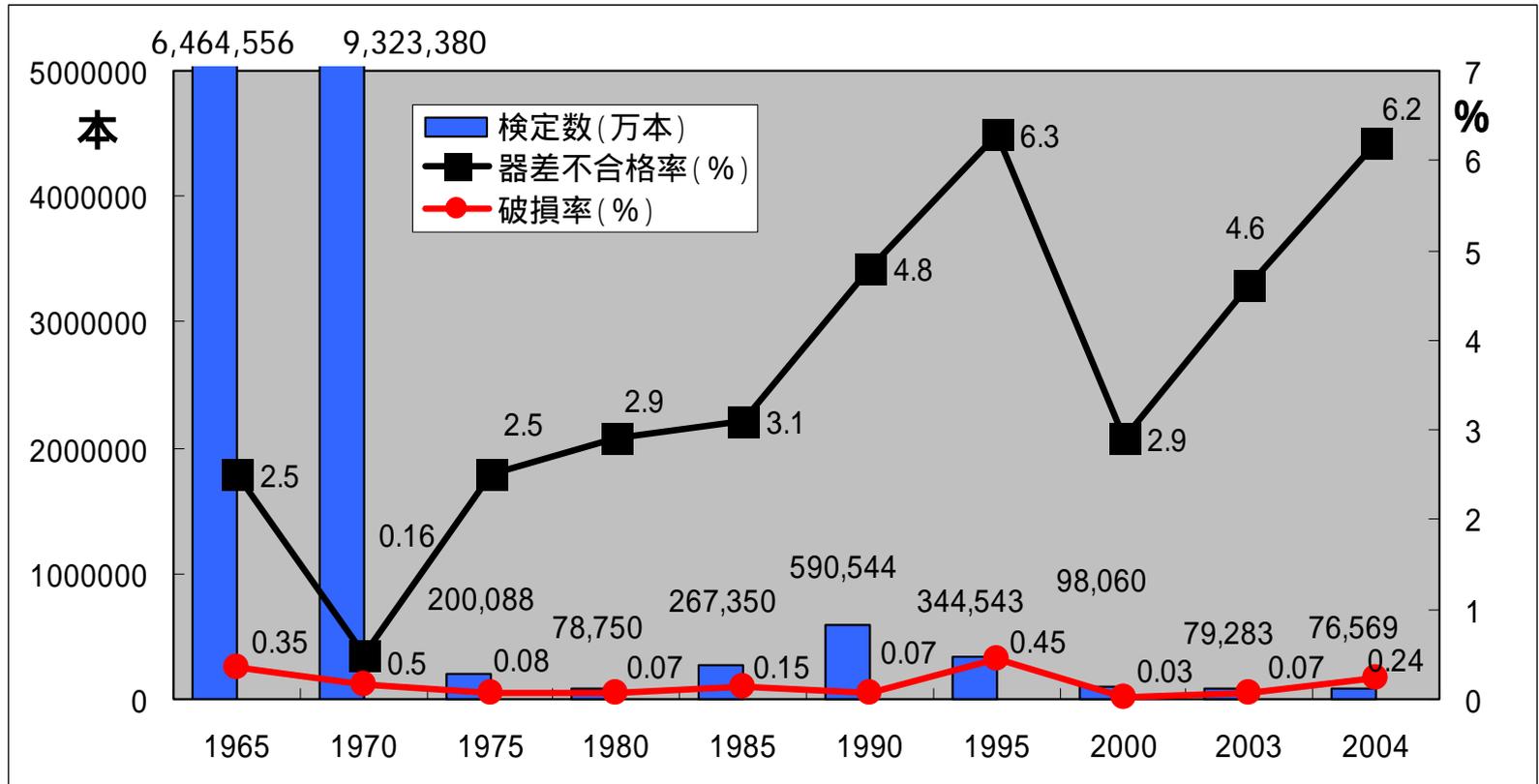
(2) 不合格理由と内訳(平成16年度)



単位:%

4.2.3 検定の状況

(3)検定数に対する器差不合格率・破損不合格率



4.2.4 検定の状況

(4) 不合格に占める破損率の割合

